

事業計画

＜公益1＞県民スポーツ・文化推進事業 1,102,908 千円 (1,054,754 千円)

1 競技力向上 403,679 千円 (351,027 千円)

(1) 競技力向上対策事業 223,326 千円 (225,844 千円)

- ① 幼児の運動能力向上事業 3,256 千円 (1,440 千円)
 - 2 巡目国スポの少年選手世代となる園児の基礎運動能力の獲得を目指し、幼稚園・保育所・認定こども園に対して、幼児運動指導の専門家を派遣する。(20 園)
- ② 目指せトップアスリート！わかとりっこ育成事業 1,592 千円 (1,592 千円)

小学生を対象に、スポーツに触れる機会を提供する事で、スポーツに興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、ジュニア育成へと繋げ、未来のトップアスリートを目指すきっかけとするため「わかとりっこ体験会」を実施する。(10 競技)
- ③ ジュニア指導者講習会 3,511 千円 (3,511 千円)

ジュニア指導にあたる指導者を対象に講習会を開催することにより、指導者自身の資質向上と県内指導者間の指導方法の共有・周知を図る。(37 競技)
- ④ カテゴリー別合同練習会 9,029 千円 (8,638 千円)

小学校高学年と中学1年、中学3年と高校1年など、カテゴリーをまたいで合同練習会を実施する。進学により校種が変わる段階においても、一貫した指導体制を維持し組織的な強化を図る。(37 競技)
- ⑤ ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 4,800 千円 (4,800 千円)

特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。
(24 クラブ 20 競技)
- ⑥ 運動部活動活性化事業 28,475 千円 (28,563 千円)
 - ・ 中学生選抜選手育成・強化支援 7,471 千円 (7,471 千円)

競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。
※中体連全専門部に対する事業実施 (20 競技)
 - ・ 高等学校運動部指定合宿等支援 6,805 千円 (7,000 千円)

各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。
※A指定、B指定に区分をし、配分。(22 校 28 競技 66 部)
 - ・ 高等学校運動部指定特別指導者確保支援 6,354 千円 (6,247 千円)

指定校へ指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。
※城北:相撲、敬愛:バドミントン
 - ・ 高等学校運動部指定外部指導者支援 7,845 千円 (7,845 千円)

各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。
- ⑦ 県外優秀アスリート受入支援事業 2,100 千円 (2,100 千円)

本県の県立高校へ入学する県外優秀アスリートの受入体制の支援を行う。
@25 千円×12 月×7 人 (ホッケー競技)

- ⑧特別ジュニア選手指定強化事業 39,142 千円 (39,128 千円)
各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(26 競技 28 種目)
- ⑨鳥取ジュニアアスリート育成強化事業 9,885 千円 (9,388 千円)
県直轄の鳥取ジュニアアスリート発掘事業で認定されたジュニアアスリートに対する強化育成事業を実施する。(12 競技)
- ⑩指導者の育成事業 3,537 千円 (3,537 千円)
全国トップレベルの指導者の元に派遣、又は国内外の優秀コーチを招へい訪問等行い、県内の指導者の指導力向上を図る。(26 競技 28 種目)
- ⑪大学部指定強化事業 550 千円 (550 千円)
協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。
※A～Dの4区分に分け、国体強化につながる部へ配分する。(2 大学 6 部)
- ⑫社会人等選手指定強化事業 26,949 千円 (26,949 千円)
各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(27 競技 29 種目)
- ⑬成年団体競技強化チーム事業 1,519 千円 (1,519 千円)
県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。
※チアフル鳥取 (バドミントン)・米子クラブ (アイスホッケー) へのチーム支援。
- ⑭優秀選手確保事業 1,000 千円 (2,000 千円)
成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。 @1,000 千円×1 名
- ⑮特別指定競技国体強化事業 12,110 千円 (12,110 千円)
令和3年度から5年間のビジョン、強化策等プレゼンテーションの結果を踏まえ、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体での成績向上を図る。(9 競技 10 種目)
- ⑯医・科学サポート事業 5,695 千円 (6,366 千円)
医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。
- ⑰強化練習用消耗品等対策事業 17,877 千円 (17,014 千円)
国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。(12 競技 13 種目)
- ⑱安全管理対策事業 1,902 千円 (1,591 千円)
国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。(41 競技)
- ⑲国体等強化備品整備 28,864 千円 (33,871 千円)
国体 (中国ブロック大会) や強化に必要な強化備品の整備を行う。(1 1 競技)

⑳公認指導者資格取得・更新補助事業 97千円(97千円)
国民体育大会の監督資格要件として必要な日本スポーツ協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の1/2補助を実施する。

㉑強化推進事業 21,436千円(21,080千円)
・強化推進事業費(事務費) 1,080千円(1,080千円)
競技団体との連絡・調整・指導等
・競技力向上担当人件費 20,356千円(20,000千円)
競技力向上対策事業を受託執行するための3名の人件費

(2) わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 650千円(850千円) ㊦

【激励関係】

ア 国民体育大会入賞奨励金支給事業
国民体育大会において入賞した競技(種別)に対し報奨金を支給する。

【その他】

イ 強化推進費
鳥取県スポーツ協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費。

(3) 国民体育大会鳥取県選手団派遣等事業 155,901千円(100,004千円)

①国体予選会の開催 4,820千円(2,820千円)
・国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。(40競技)
2,820千円(2,820千円)
・(臨)新型コロナウイルス感染対策 2,000千円(0千円)

②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣 47,359千円(36,946千円)
広島県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及びフィギュアスケート
全国予選会へ選手団を派遣する。
期 日 2022年5月～12月
会 場 広島県内の各会場等
競技種目 水泳(水球)他32競技

③第77回国体及び特別国体冬季大会への選手団派遣 74,064千円(58,951千円)
・栃木県で開催される第77回国体国民体育大会(会期前・本大会)に選手団を派遣
する。

(本大会及び会期前)

期 日 2022年10月1日～10月11日

※会期前実施競技は2022年9月10日～9月19日

競技種目 陸上競技他36競技

・特別国体冬季大会に選手団を派遣する

(スキー競技)

期 日 2023年2月17日～2月20日

場 所 岩手県八幡平市

(スケート・アイスホッケー競技)

期 日 2023年1月28日～2月5日

場 所 青森県八戸市・南部町

④国体等派遣選手指導費 1,287千円(1,287千円)
県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や
競技力向上のための情報収集活動を行う。

⑤(臨)新型コロナウイルス感染症対策費 28,371千円(0千円)
・中国ブロック大会及び全国予選会 16,880千円(0千円)
PCR検査代(中国ブロック大会に出場するための往復PCR検査代)

- ・第77回国体及び特別国体冬季大会 11,491千円(0千円)
PCR検査代(国体に出場するための往復PCR検査代)
体調不良者搬送対応費(現地にて体調不良者発生時に搬送するためのレンタカー費用等)

(4) 競技力向上のための指導者確保事業 11,600千円(12,432千円)

- 鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。
※ホッケー競技・セーリング競技

(5) JOC競技別強化拠点(セーリング・クライミング)整備等事業

- ・コーチングスタッフの確保 11,512千円(11,207千円)
JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリーナ及び倉吉体育文化会館における競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な環境整備を行う。

(6) アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日本スポーツ協会委託事業)

200千円(200千円)

- ・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。
- ・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

(7) 賛助会費事業 490千円(490千円) ㊦

- ①ジュニア期の一貫指導・育成支援事業 400千円(400千円)
全国での入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。
- ②総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 30千円(30千円)
総合型地域スポーツクラブが指導者を招聘して教室開催等を行うことにより、会員確保やクラブ活性化を図る。
- ③賛助会員体育施設利用券の発行 30千円(30千円)
鳥取県スポーツ協会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付する。
- ④賛助会運用費 30千円(30千円)
鳥取県スポーツ協会が賛助会費を運用していくために必要となる経費。

2 生涯スポーツ推進 43,546 千円 (46,688 千円)

(1) 広域スポーツセンター事業 30,535 千円 (24,887 千円)

- ①総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 320 千円 (320 千円)
総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。(研修会 1 回 派遣 2 回)
- ②クラブアドバイザー配置事業 5,622 千円 (5,671 千円)
総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援等を行うためクラブアドバイザー(1 名)を配置する。
- ③クラブアシスタントマネジャー研修事業 120 千円 (120 千円)
総合型地域スポーツクラブのマネジメントに必要な基礎知識を有する人材を養成するため、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格取得のための研修会を行う。(年 1 回)
- ④県民まるごとスポーツ推進事業 3,494 千円 (3,494 千円)
 - ・親子 de スポーツ推進事業(総合型) 977 千円 (977 千円)
子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、総合型地域スポーツクラブが親子向け運動教室を開催することを支援する。
(9 クラブ)
 - ・親子 de スポーツ推進事業(競技団体) 1,300 千円 (1,300 千円)
子育て世代を中心として、親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、競技団体が親子向け運動教室を開催することを支援する。(10 競技)
 - ・みんな de ユニスポ推進事業 1,217 千円 (1,217 千円)
年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供することを目的とし、総合型地域スポーツクラブが幅広い層を対象としたスポーツ機会を提供することに対して支援する。(4 クラブ)
- ⑤鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 824 千円 (1,313 千円)
県内スポーツ施設、スポーツイベント、鳥取へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。
- ⑥第 23 回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 7,791 千円 (7,791 千円)
広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を提供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。
 - ・夏季大会 5 種目
期 日 2022 年 8 月 27 日～28 日
会 場 西部地区中心に全県で開催
 - ・秋季大会 34 種目
期 日 2022 年 10 月 22 日～23 日
会 場 西部地区中心に全県で開催
 - ・冬季大会 5 種目
期 日 2023 年 2 月 12 日
会 場 西部地区中心に全県で開催
- ⑦大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 3,500 千円 (0 千円)
本県スポーツ協会と江原道体育会との協定(2001 年 11 月 6 日協定)に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。
令和 3 年度は令和 2 年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で延期となったため、令和 4 年度は鳥取県が江原道を訪問。

- ・スポーツ交流大会 ※競技については、江原道と協議する。

期 日 2022年12月(予定)

参加者 3競技の監督、選手、スポ協役員等

【鳥取県－江原道スポーツ交流事業 過去交流大会】

回数	期 日	場 所	参加人数	
			鳥取県	江原道
第1回大会	平成13年11月5日～9日	春川市	24名	29名
第2回大会	平成14年6月24日～27日	米子市	43名	33名
第3回大会	平成15年11月10日～13日	東草市	34名	38名
第4回大会	平成16年7月26日～29日	大山町	40名	31名
第5回大会	平成17年7月26日～29日	江陵市	33名	37名
第6回大会	平成18年7月25日～28日	米子市	46名	37名
第7回大会	平成19年12月4日～7日	原州市	36名	43名
第8回大会	平成20年11月18日～21日	鳥取市	49名	36名
第9回大会	平成21年12月4日～8日	東海市	41名	49名
第10回大会	平成22年12月3日～7日	鳥取市	41名	35名
第11回大会	平成23年12月2日～6日	春川市	38名	38名
第12回大会	平成24年11月30日～12月4日	米子市	56名	37名
第13回大会	平成25年11月29日～12月3日	春川市	42名	47名
第14回大会	平成26年11月28日～12月2日	米子市	57名	41名
第15回大会	平成27年12月11日～12月15日	原州市	40名	39名
第16回大会	震災の為に中止			
第17回大会	平成29年12月8日～12月12日	鳥取市	43名	40名
第18回大会	平成30年12月7日～12月11日	春川市	45名	45名
第19回大会	令和元年12月6日～12月10日	鳥取市	48名	41名
第20回大会	新型コロナの為に中止			
第21回大会	新型コロナの為に中止			

- ⑧広域スポーツセンター人件費 8,214千円(6,178千円)
広域スポーツセンターの事業を受託執行するための1名分の人件費。

- ⑨(新) スポトピアとっとりフェスタ開催事業 650千円(0千円)
総合型地域スポーツクラブと連携し、国民の祝日である「スポーツの日」の関連行事として、スポーツの楽しさや喜びを伝える「スポトピアとっとりフェスタ」を県内3地区で開催する。

(2) スポ協表彰事業 1,209千円(1,225千円) ⑩

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、表彰選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 令和5年2月18日(土)

場 所 白兔会館

表彰内訳

優良団体賞	2団体程度
体育功労章	若干名
優秀指導者賞	若干名
特別賞	国際大会出場者等
スポーツ賞	全国大会等上位入賞
スポーツ敢闘賞	全国大会等下位入賞
スポーツ奨励賞	全国規模大会入賞者

(3) 公認コーチ養成事業 1,260 千円 (1,569 千円)

①公認コーチ養成講習会の開催 (日本スポーツ協会委託事業)

866 千円 (1,200 千円)

- ・コーチ1養成講習会 競技未定

②公認コーチ育成事業 (日本スポーツ協会委託事業) 394 千円 (369 千円)

- ・スポーツ指導者研修会の開催 年2回
- ・指導者育成関係事業事務費

(4) スポーツ少年団育成事業 (日本スポーツ協会助成事業等)

4,694 千円 (4,455 千円)

①県競技別交流大会開催事業 470 千円 (559 千円)

各地区を代表するスポーツ少年団による県交流大会を開催する。

- ・軟式野球大会

期 日 令和4年7月2日(土)、3日(日)(予備日)

会 場 赤碓総合運動公園(野球場)

- ・ミニバスケットボール大会

期 日 令和4年10月2日(日)

会 場 米子産業体育館

- ・剣道大会

期 日 令和4年10月30日(日)

会 場 名和農業者トレーニングセンター

- ・バレーボール大会

期 日 令和4年12月11日(日)

会 場 米子産業体育館

②中国ブロックスポーツ少年団競技別交流大会開催事業 670 千円 (670 千円)

各県のスポーツ少年団による競技別交流大会を開催する。

期 日 令和4年8月20日(土)～21日(日)

交流競技 軟式野球

会 場 船上山少年自然の家(宿泊)

赤碓総合運動公園(野球場)及び東伯総合運動公園(野球場)

③中国大会派遣事業 436 千円 (344 千円)

各県で開催される中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。(スポーツ少年大会、リーダー研究大会(山口県)・男子バレーボール(島根県)・ティールボール(岡山県)・ソフトボール(広島県))

④全国大会派遣事業 201 千円 (126 千円)

全国で開催されるスポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。(剣道(新潟県)・バレーボール男子、女子(静岡県))

⑤中央講習会派遣事業 10 千円 (15 千円)

新規インストラクター養成のための研修会へ派遣する。

- ・インストラクター(スポーツ少年団)養成講習会

⑥スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の開催 250 千円 (250 千円)

単位団運営において最低2名以上必要な、スタートコーチ(スポーツ少年団)資格を取得できる講習会を開催する。

期 日 令和4年11月20日(日)

会 場 鳥取県立倉吉体育文化会館

⑦ジュニア・リーダースクール開催事業 115 千円 (115 千円)
日本スポーツ少年団リーダー制度におけるジュニア・リーダー資格を取得できる講習会を開催する。
期 日 令和4年9月17日(土)～18日(日)
会 場 鳥取県立船上山少年自然の家

⑧地区別交流大会開催費 421 千円 (421 千円)
本県東・中・西部地区の市町村で開催される交流大会費用を助成する。

⑨地区別指導者研修費 151 千円 (151 千円)
本県東・中・西部地区の市町村で開催される指導者研修費用を助成する。

⑩スポーツ少年団本部運営費 1,970 千円 (1,804 千円)

(5) スポーツ安全保険業務受託事業 4,997 千円 (4,345 千円)
公益財団法人スポーツ安全協会と業務及び経費について委託契約を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

(6) 施設基金実施事業 351 千円 (9,352 千円) ⑤

①ガイナレ鳥取支援事業 51 千円 (51 千円)
ガイナレ鳥取に対し、本会としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

②備品整備事業 300 千円 (300 千円)
県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備(公用車の維持・修繕等)を行う。

(終了) 2020 東京オリパラ・世界選手合宿誘致事業 0 千円 (9,001 千円)

(7) スポーツスクエア整備事業 500 千円 (750 千円)

本県のスポーツ・体育の歴史を紹介する展示物を展示することで県民のスポーツへの興味・関心を高める目的で管理施設(布勢総合運動公園他)のスポーツ展示スペースの整備を行う。

3 体育施設管理・運営 655,683千円(657,039千円)

鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

	布勢総合運動 公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
利用予定 人員	931,600人 (936,100人)	体人76,000 (70,000人) プ49,000人 (65,000人)	87,000人 (87,000人)	140,000人 (139,000人)	111,000人 (109,000人)	1,394,600人 (1,406,100人)
利用収入 等金額	49,850千円 (49,790千円)	24,600千円 (29,238千円)	21,800千円 (20,730千円)	27,550千円 (27,200千円)	10,130千円 (10,160千円)	133,930千円 (137,118千円)
※収益2 の収益	6,790千円 (6,791千円)	1,620千円 (2,346千円)	648千円 (513千円)	2,000千円 (1,950千円)	2,529千円 (2,529千円)	13,587千円 (14,129千円)
支 出	346,900千円 (344,561千円)	92,447千円 (97,779千円)	73,518千円 (72,243千円)	62,630千円 (62,230千円)	80,188千円 (80,226千円)	655,683千円 (657,039千円)
県委託料	290,260千円 (287,980千円)	66,227千円 (66,195千円)	—	33,080千円 (33,080千円)	67,529千円 (67,537千円)	457,096千円 (454,792千円)
米子市委 託料	—	—	51,070千円 (51,000千円)	—	—	51,070千円 (51,000千円)
スポー ツ・文化 教室	【陸上】 陸上教室 他8教室 【体育館】 卓球初級教室 他21教室	【体育館】 バドミントン教室 他12教室 【プール】 幼児水泳教室 他19教室	【プール】 幼児水泳教室 他22教室 【トレーニングホール】 バドミントン初級 教室 他9教室	【年間教室】 サッカー教室 他12教室 【短期教室】 バドミントン教室 他1教室	【年間教室】 柔道・小学生教室 他27教室 【短期教室】 弓道クリニック 他2教室	
イベント	・グラウンドゴルフ大会 ・卓球大会 ・サッカー大会 ・布勢スプリント 他8イベント	・室内グラウンドゴルフ ・花ショウブ展示会 ・泳力検定 他7イベント	・トップアスリート招聘 ・泳力測定会 ・水辺の安全教室 ・親子スポーツ体験会 他10イベント	・新体操発表会 ・バドミントン大会 ・卓球大会	・武道・バラスポーツ合同体験会 ・小学生柔道大会 ・小学生剣道大会 ・高校生弓道大会 ・鏡開き式 他3イベント	
備考						

() 内は前年度数字

<収益1>施設関連事業 84,870千円(88,866千円)

1 体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

(1) 倉吉体育文化会館の管理運営 76,110千円(81,673千円)

事業計画	
	倉吉体育文化会館
利用予定人員	198,000人 (196,000人)
利用収入等金額	20,437千円 (20,337千円)
支出	76,110千円 (81,673千円)
県委託料	55,673千円 (61,336千円)
スポーツ教室	からだづくり教室 他22教室
文化教室	フラワーアレンジメント教室 他10教室
イベント	【スポーツイベント】 エンジョイ体文カップ 他2イベント 【文化イベント】 夏休み文化教室 他2イベント 【その他イベント】 体文祭
備考	

()内は前年度数字

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営 8,760千円(7,193千円)

- ・倉吉自転車競技場管理運営職員3名を配置し管理運営を行う。

<収益 2> 自動販売機設置事業 1,438 千円 (1,502 千円)

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

	収入	支出	収益
布勢総合運動公園	7,545 千円 (7,545 千円)	755 千円 (754 千円)	6,790 千円 (6,791 千円)
鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	1,800 千円 (2,606 千円)	180 千円 (260 千円)	1,620 千円 (2,346 千円)
皆生市民プール	720 千円 (570 千円)	72 千円 (57 千円)	648 千円 (513 千円)
米子産業体育館	2,150 千円 (2,100 千円)	150 千円 (150 千円)	2,000 千円 (1,950 千円)
武道館	2,810 千円 (2,810 千円)	281 千円 (281 千円)	2,529 千円 (2,529 千円)
合 計	15,025 千円 (15,631 千円)	1,438 千円 (1,502 千円)	13,587 千円 (14,129 千円)

() 内は前年度数字